



じほろ議会 ムだより

令和2年5月 No. 176 ■発行/土幌町議会 ■HPアドレス <http://www.shihoro.jp/assembly/>

Q しほろ議会 検索

Contents

- 3月定例会
条例改正、補正予算 ほか…………… 2ページ
- 一般質問
シーパラーの生産と将来展望について ほか1件…………… 4ページ
- 予算審査質疑 …………… 6ページ
- かけ橋 「土幌国保病院・病院長として…今考えていること」
土幌町国民健康保険病院 院長 宮西 秀二さん…… 10ページ

令和2年 第1回定例会 議場で一般質問

令和2年
第1回
定例会

令和2年度一般会計ほか6特別・1事業会計

前年度対比微減の予算、総額118億円

議案32件を原案どおり可決

第1回定例会が、3月6日から16日までの会期で開会。

初日は行政報告、教育行政報告、町政及び教育行政執行方針のほか監査報告（例月出納検査報告）と産業厚生常任委員会所管事務調査報告を行い、専決処分承認1件及び令和元年度補正予算5件を審議した。10日は、2人の議員が一般質問に登壇。規約の変更2件、人事案3件、議案1件、条例案9件を審議後、令和2年度予算審査特別委員会を設置し、12日まで予算審査を実施した。12日には、本会議を再開し、一般会計ほか6特別会計及び1事業会計の歳入歳出予算及び追加議案3件の審査を行い、全ての議件を原案どおり可決し閉会した。

令和2年度 各会計予算総額

単位：額は万円、伸率は%

会計区分	予算額	前年度対比	
		増減額	伸率
一般会計	72億5,900	14,200	2.0
特別会計	国民健康保険	▲7,066	▲6.5
	後期高齢者医療	461	4.6
	介護保険	1,641	2.3
	介護サービス	▲515	▲0.9
	簡易水道	5,226	20.4
	公共下水道	▲23,166	▲23.9
病院事業会計	10億8,377	▲9,974	▲8.4
合計	118億187	▲19,193	▲1.6



人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い、小林宏氏の後任として、山中雅弘氏を適任とする提案を決定。



固定資産評価審査委員の選任

任期満了に伴い、宗原徳雄氏の後任として、山田英寿氏を選任する提案に同意。



監査委員の選任

任期満了に伴い、佐藤宣光氏の再任に同意。

審議された案件と提案理由

条例の改正

【土幌町職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例案】

会計年度任用職員には地方公務員法第31条の既定が適用され、服務の宣誓を行う必要があるため、条例を改正

【職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案】

病院医師の宿日直手当について支給額を改定するため、条例を改正

【特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例案】

地方自治法第204条第3項の規定に基づき、医師研究研修手当について支給額を定めるため条例を改正

【土幌町監査委員条例及び土幌町国民健康保険病院事業条例の一部を改正する条例案】

地方自治法等の一部を改正する法律（平成29年法律第54号）が令和2年4月1日から施行されるに伴い、関係条項のずれが生じることから条例を改正

【土幌町手数料徴収条例及び土幌町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例案】

行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律の一部改正に伴い、必要な規定の整理を行うため、条例を改正

【土幌町特定公共賃貸住宅管理条例等の一部を改正する条例案】

民法の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律が、令和2年4月1日施行となるため、町営住宅関係の各管理条例の連帯保証人について、その保証の極度額を定めることが必要となるため、条例を改正

【土幌町農地利用集積円滑化事業基金条例の一部を改正する条例案】

農業経営基盤強化促進法の改正により、条例を改正

【土幌町立学校設置条例の一部を改正する条例案】

条例を改正

【土幌高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案】

土幌町立高等学校の名称及び位置を改めるため、条例を改正

規約の変更

【十勝管内自治体病院医薬品等共同購入協議会を組織する町数の減少及び十勝管内自治体病院医薬品等共同購入協議会規約の変更について】

十勝管内自治体病院医薬品等共同購入協議会から令和2年3月31日をもって広尾町が脱退することに伴い、地方自治法第252条の6の規定に基づき、議会の議決を求めるものである。



副町長の選任

柴田敏之副町長の辞任に伴い、後任として、高木康弘氏を選任する提案に同意。

協定の変更

【定住自立圏形成協定の変更について】

定住自立圏形成協定の変更について、土幌町議会の議決すべき事件に関する条例第2条第2号の規定により、議決を経ようとするものである。

指定管理者の指定

【指定管理者の指定について】

土幌町民プールに係る指定管理者の指定について、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるものである。

令和2年度の力点事業

▼防災無線整備事業

2億3700万円

▼高齢者等移動支援実証事業助成 200万円

▼地域情報通信向上対策整備(川西地区高速無線インターネット通信速度改善) 1000万円

▼子育て世代包括支援センター開設事業 307万円

▼妊婦健診委託事業(妊婦を対象とした産婦人科定期健診費用の助成) 387万円

▼産後ケア事業(出産後の母親の日帰り型デイケアサービス事業) 19万円

▼小・中学校及び認定こども園等エアコン設置事業 390万円

▼終末処理場建替工事 5億9300万円

▼営農用水事業(配水管敷設) 7250万円

▼公営住宅建替等事業(若葉団地建替) 8514万円

▼住宅団地造成(仮みどり団地6区画) 1601万円

▼GIGAスクール構想実現に向けた整備事業(小・中・高校内通信ネットワーク整備事業、小・中児童生徒1人1台端末整備(4カ年)) 5273万円

▼学校給食費子育て支援助成(1食当たり小学校児童55円、中学校生徒56円の公費負担、第3子以降は無料) 727万円

▼小中学校主要5教科補助教材費の公費負担 385万円

▼各種検定受検料助成 75万円

第1回定例会で審議・可決等された案件

報告	結果	賛・反
▼行政報告	結果	賛・反
▼町政執行方針		
▼教育行政報告		
▼町政執行方針		
▼教育行政執行方針		
▼月出納検査報告		
▼産業厚生常任委員会所管事務調査報告		
▼条例の改正	結果	賛・反
▼土幌町職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼職員給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼特別勤務手当支給条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町監査委員条例及び土幌町国民健康保険病院事業条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町手数料徴収条例及び土幌町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町特定公共賃貸住宅管理条例等の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町農地利用集積円滑化事業基金条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町立学校設置条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案	可決	全員賛成
▼土幌町立学校設置条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
▼十勝管内自治体病院医薬品等共同購入協議会を組織する町数の減少及び十勝管内自治体病院医薬品等共同購入協議会規約の変更について	可決	全員賛成
▼定住自立圏形成協定の変更について	可決	全員賛成
▼指定管理者の指定について	可決	全員賛成
▼損害賠償額の決定及び和解について	可決	全員賛成
▼監査委員の選任について	結果	賛・反
▼固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	全員賛成
▼人権擁護委員の推薦について	同意	全員賛成
▼副町長の選任について	同意	全員賛成
▼令和2年度各会計予算	結果	賛・反
▼一般会計	可決	全員賛成
▼国民健康保険事業特別会計	可決	全員賛成
▼後期高齢者医療事業特別会計	可決	全員賛成
▼介護保険事業特別会計	可決	全員賛成
▼介護サービス事業特別会計	可決	全員賛成
▼簡易水道事業特別会計	可決	全員賛成
▼公共下水道事業特別会計	可決	全員賛成
▼国民健康保険病院事業会計	可決	全員賛成
▼令和元年度各会計補正予算	結果	賛・反
▼一般会計(第7号)	承認	全員賛成
▼一般会計(第8号)	承認	全員賛成
▼一般会計(第9号)	承認	全員賛成
▼国民健康保険事業特別会計(第4号)	可決	全員賛成
▼簡易水道事業特別会計(第1号)	可決	全員賛成
▼公共下水道事業特別会計(第1号)	可決	全員賛成
▼国民健康保険病院事業会計(第3号)	可決	全員賛成

一般質問に2名が登壇

町民の声を町政に・町政のここが聞きたい

清水 秀雄 議員 ☞ シーベリーの生産と将来展望について

大野 明 議員 ☞ 士幌町の「ふるさと納税」制度への取組について

3月定例会では2人の議員が一般質問に登壇し、理事者の考えをいただきました。内容を要約してお知らせします。全文については議会ホームページに掲載(6月上旬予定)します。

支援を 加工に必要な技術支援などを積極的に行う

【清水秀雄 議員】



質問

2001年に士幌高校で初めて栽培されたフィンランド産のシーベリーは、町内の複数箇所で研究を重ねて、2008年には下居辺での本格的な生産が行われるようになった。シーベリーの果実は、現在では機能性食品としての評価も高く、十勝管内の菓子メーカーの製品原料として販売し、道外にも販路を拡大する努力をしているが、在庫が増える状態になり、Cherersや町の担当者なども努力されていると伺っているが、町としてどのような将来展望を

持っているか伺う。

小林町長答弁

平成13年当時、北海道農業研究センターの担当者からユースシア大陸原産のシーベリーを本町に紹介され、フィンランドから苗木80株を購入し、当時の士幌高校専攻科が中心となり、栽培が開始されたものである。その後、植生や適応性、危険分散を考慮して、士幌高校園場以外に100株の栽培を委託し、現在では士幌高校と酒井ハスカップ園の2か所で栽培されている。

現在株式会社at LOC ALがシーベリー果実を活用した商品を開発し、道の駅ピア21しほろで販売している。

また、株式会社Cherersが士幌高校と連携しながら商品開発、販売促進に努めているが、シーベリーそのものの認知度が依然低く、他の果実との価格差もあり、販路拡大

に苦戦を強いられているのが現状である。こうした状況に鑑み、本年度から株式会社Cherersが町の商工業にぎわい創出推進事業助成金を活用し、北海道立十勝圏地域食品加工研究センターの協力の下、各機関と連携しながら機能分析、加工技術開発などに着手し、新たな加工食材としての可能性を見だし、令和2年度においてはシーベリーが持つ人体への効果をはかるための細胞試験を行い、安心、安全の視点から高付加価値食品の開発を目指している。

今後、生産者自らが商工業と連携し、加工、販売に取り組むことでそこから生ずる高い付加価値に期待をすることにも、引き続き加工食品製造に関わる方の創意工夫が図れ、開発された加工食品が本町の魅力発信やブランド化の推進に資するよう努めていく。

質問

2017年には町商工会や士幌高校生、地域おこし協力隊の人々などたくさんの方々の支援を受けて800kgの収穫ができたと同っている。しかし、

冷凍貯蔵するようになっているが、販路拡大に苦戦されているがどのような支援策を考えているか伺う。

小林町長答弁

町は酒井さんから原料を購入して生産研究しているところだが、開発にはいろいろな課題がある。今後は加工方法などを研究し、生産者へフィードバックしながらchefsあるいは高校も含めて、町として研究、開発の支援をしていきたいと考えている。



「ふるさと納税」制度への取り組みについて

趣旨を踏まえて積極的に推進

質問

地方創生の政策として始めたふるさと納税制度ですが、積極的に活用してまちづくりを行っている町村が出てきているように感じている。土幌町のこの制度への取り組みについて伺う。

小林町長答弁

本町では、平成27年6月から寄付者への返礼品を送付する感謝特典贈呈事業を実施してきたところであり、返礼品につきましても、土幌町の農畜産物やその加工品を中心に季節の旬の野菜なども取り入れてきた。納税の実績について、

平成27年度では8862万6000円、平成28年度8144万4000円、平成29年度1億832万3000円、平成30年度は1億3万8000円と全国の皆様から寄付を頂いたところであり、今年度は1億8000万円の見込みである。

受付方法は、主にインターネット上の受付サイトを活用し、現在は4つのポータルサイトを中心に受付しており、ポータルサイトの追加が今年度の寄付額を大きく伸ばした要因の一つと考えている。

寄付金の活用については、施設整備事業、福祉事業、環境事業、その他町長が認める事業など9つの寄付目的の中から寄付者が指定した目的に沿って寄付の翌年度以降の事業に活用している。

主な活用実績は、中央中学校の吹奏楽器の購入、ふるさと給食の実施、コミュニティ

バス運行事業などに活用している。

今後とも基準を遵守する中、町のPRも含め、ふるさと納税の取組を推進する。

質問

今後さらに多くの寄付を募るためには返礼品の充実を図るべきであると考えますが、返礼品はどのように募集しているのか。また、返礼品の採択に決まりがあるのか。

石垣総務企画課長答弁

年に1度、役場だよりに掲載し、返礼品の取扱い業者を募集している。併せて担当職員による地場産品の掘り起こしにより返礼品として取り扱えないか事業者と協議をしながら、充実に努めている。返礼品の採択は、総務省から示された基準により区域内において生産されたもの、または提供される役割、その他これに準ずるものとなっており、この基準に合致する地場産品を返礼品として取り扱っている。

質問

多くの寄付を募るためには、PR活動が大切であると思う。PR動画を見たが再生回数

4万回を超えていて、大変効果があったと思うが今後このような動画の更新は続いているのか。また、土幌町では感謝祭などの物産市などの実施を考えているのか。

石垣総務企画課長答弁

今年度ウェブサイト広告として検索者の目に留まりやすい場所にこの動画を表示し、一定程度の効果があつたと分析しているが、動画の更新については現在のところ計画はしていない。

感謝祭の開催と今後のPR活動についてですが、これらの開催や出展には多額の経費が必要となり、総務省から示されているPR経費を含めた関係経費を寄付額の5割以下とするこの基準を超えてしまつたため、開催は難しいと考えている。

首都圏への新聞折り込みや専門雑誌、インターネットを活用したPRと併せて東京や札幌のふるさと会での周知、美濃市産業祭やさっぽろオータムフェストなどのイベントを活用し、ふるさと納税のPRを進めていきたい。



【大野 明 議員】

予算審査質疑

令和2年度 一般会計ほか特別会計・1事業会計

第1回定例会で付託された令和2年度各会計予算審査特別委員会（加藤宏一委員長）において、各委員から出された質疑の一部を要約してお知らせします。

総務費

閉校小学校施設の 利活用について

森本委員

前年度より開始された旧小学校施設等利活用推進補助金だが、現在までの問い合わせ状況、また廃校になった地域との話し合いの現状を説明願う。

郷原総務企画課担当主査

現在までに申込み、または前向きな検討をしているという企業等からの話は受けていない。9月に東京で行われた廃校マッチングイベントに参加しPRをした中では北海道までの交通アクセス、冬期間の利活用についての課題が非常にネックになっている。地域との話し合いは、企業

防災無線の活用は

牧野委員

防災無線の整備として防災ラジオを各家庭への貸与と屋外拡声器の設置とあるが、防災以外の活用は何か考えているか。

石垣総務企画課長

戸別に受信機を配置しているので、例えば今般のコロナウィルスの関係情報とか、防犯でも活用を考えている。

等からの申込みがあり、より具体的な利活用が見えた段階でさせていただきたい。

森本委員

閉校した4つの地区に於いても利活用の具体的な希望は無い様だが、行政がきっかけづくりをして進めていただきたい。

小林町長

いろいろな角度から制度の利活用が図られるよう、今後PRに務めていきたい。

コンビニ収納、 今一度説明を

河口委員

コンビニ収納の対応システムが終りになるという事だが、コンビニ収納ができなくなるわけではないと思うが詳しい説明を願う。

藤内町民課長

納税者への利便性向上のために平成26年よりコンビニ収納を開始しましたが、今後も増加が見込まれることから令和2年4月当初からコンビニ収納できる納付書を送付することとし、改修費を予算計上

したもので事業の終了ではない。

台東・墨田、 なぜこの地域なのか

森本委員

十勝地域と台東・墨田連携交流事業負担金636千円とあるが、なぜこの地域との交流であるか説明を願う。

増田総務企画課担当主幹

東京23区の区会長から町村会に連携事業を展開したい申し入れがあり、十勝18町村と台東・墨田区が連携し国の地方創生推進交付金を活用する中で令和2年度から5ヶ年事業として取り組むことになった。

森本委員

令和6年までの期間で具体的に土幌町に生じる成果はどのようなものか。

増田総務企画課担当主幹

土幌町産品の新たな販路を拡大し、交流人口につなげていく。

地域情報通信向上 対策の事業内容は

矢坂委員

地域情報通信向上対策整備事業は、具体的に中音更地区のごのような設備整備なのか。

石垣総務企画課長

大変通信速度が遅いということ、通信速度を上げる工事を実施する。大体5倍の速度になるぐらいの送信機に取り替える。

矢坂委員

農村の通信環境の整備は今後の課題になってくる。環境不利な通信のところもあるわけで、このような事業を続けて考えていくのか。

石垣総務企画課長

光ケーブルというような要望もあるが、多額な設備経費がかかる。今運用している無線のインターネットを利用して、機器を更新することで通信速度を改善できるので、当面この工事を実施して利用していただく。



衛生費

新型コロナウイルス 感染時の対応は

大西委員

新型コロナウイルスに関して様々な報道がされているが、町民で感染が疑われる症状が出た場合はどのように行動すべきなのか。

堀江保健福祉課長

一般的なインフルエンザの疑い等がある場合は、最寄りの医療機関あるいはかかりつけ医にかかって経過を見て頂き、医療機関にかかっても37度5分が4日以上続くということであれば、保健所に問い合わせる。PCR検査できる医療機関を受診していただく形となる。

農林業費

農畜産物加工施設、内訳

河口委員

指定管理委託料が前年度より250万円程度増額されているのは人件費なのか。

亀野産業振興課長

ご指摘のとおり人件費の部分が大きい。前年度は1名分だが、働く環境の休暇等も考慮し増額とした。

河口委員

加工施設の指導的な立場にあった人が現在おらず課長が兼務をしているようだが、実態と今後の見通しをお聞きする。

小林町長

主幹を発令して統括マネージャーを置いていたが退職した。これからの人事で新たな配置を検討していく。

教育費

モバイルWi-Fiの 使用目的は

森本委員

モバイルWi-Fiはどのように使用される目的なのか。

進士教育課担当主査

全国で推し進めているGIGAスクール構想において1人1台端末の整備また校内LAN整備を併せて実施している。小学校においては上居辺地区において光エリアが整備されておらず、ポケットWi-Fiにおいて通信速度を確保するため計上した。

森本委員

1校だけが光通信が利用できない環境であるが、子供たちの教育環境は一律にしたい思いから町として光通信網の整備について強力に要請をして欲しい。

小林町長

NTTと随分交渉しているが上居辺小学校を光エリアにするには4000万円が必要と言われている。今は財政的に難しいが、引き続きNTTに要望していく。

に難しいが、引き続きNTTに要望していく。

GIGAスクールの 高校との歳出の違いは

伊藤委員

GIGAスクール構想について、小学校3校で950万円、中学校1校で900万円、高校は電源キャビネットなしで1485万円と事業費に差がある説明願う。

進士教育課担当主査

小学校、中学校は平成29年度に1GbpsのLAN配線工事を実施しており、高校のネットワーク整備はLAN配線工事を実施していなかったことから差がでた。

GIGAスクールの 学年の割り振り根拠は

矢坂委員

1人1台の設置予定が令和2年から4ケ年で整備される。なぜ今年度は小学5、6年生、中学1年生という根拠になったのか。

進士教育課担当主査

文科省で示され決まったため。今回の小5、6、中1ということとは、新学習指導要領に対応し、この学年から先に行うというところで決定している。

矢坂委員

今後高校にもこの端末の導入等を町単独で考えるのか。

堀江教育長

補助事業があれば活用して行いたい。今後の情勢をみながら検討していきたい。

町民プールの指定管理の 委託内容は

森本委員

町民プールについて、新たに指定管理という委託料が発生しているが、前年度予算計上されていた水質検査委託料も含まれて管理委託になったことと今までと変わった点、委託内容について説明願う。

小野寺教育課主幹

現状の委託料では、水質検査、ボイラーの点検、シート張替え、清掃等が含まれている。今回の指定管理では、指導員を配置し水泳教室を開く

ここで町民に還元できるメリットがあると考えている。

土幌高校の活躍を讃える横断幕を掲げては

大西委員

土幌高校が全国・全道大会等で優秀な成績を収めている。これらを讃える横断幕を町庁舎や商工会、農協の前など多くの町民に目につくやすい所へ掲げてはどうか。今後の生徒たちや町民の励みになると思う。

小林町長

土幌高校が各種大会で活躍していることは生徒はもちろんだが、校長以下先生方が非常に頑張っていて頂いていることが大きい。それらを讃えPRしていく意味もあるので、教育委員会や協議会として参りたい。

食品加工研修施設の活用状況は

河川委員

今まで食品加工研修施設で行われていた一般の食品加工をしほろキッチンに移した。

食品加工研修施設において土幌高校のブランド商品量産化を計画しているが活用状況はどうか。

上野高校事務長

町民等の研修等が移行し、高校生が食品加工研修センターを利用する時間が増えた。今後はブランド商品等の開発に努めながら施設を有効に利用していく。

休校中の授業時数の確保は

森本委員

新型コロナウイルスによる休校において、小学6年、中学3年生は今年度で学校を卒業するが、授業時数の現状、また新年度はどのような体制で新生を迎えるのか。

玉堀教育委員会参事

中学3年生の授業時数は入試があることから2月いっぱい学習内容を終了し、小学6年は一部未履修を臨時休業中の家庭学習で時数を確保している。

森本委員

小学1年から5年生及び中

学1年から2年生についても授業時数は確保されているのか。

玉堀教育委員会参事

授業時数はほぼ確保されている。ただ一部未履修があり学校からそれぞれの家庭に学習問題、説明文書等を郵送のうえ、自宅学習を進めている。

森本委員

進級・編入する子供たちや保護者も不安があると思われるので心のケアを含めた情報提供を願う。

堀江教育長

各学校に対し十分にケアするように伝え、学校のホームページからも情報をダウンロード出来るようにしている。また総研も臨時休館しているが、今後希望に応じて図書の出しを郵送で行う事を検討している。

病院事業会計

医師4人体制について

大西委員

4人目の医師は4月には決

まるのか

小林町長

3月中にも決めたいが、4月になるかもしれない。一時

的にスポットになるかもしれないが、早期に4人配置をす

令和元年度土幌高等学校の全国・全道大会の成績

「全道技術競技大会」

令和1年8月1日 岩見沢市

〈東北道連盟〉

家畜 最優秀賞 3年1組 野田 達哉さん
乳牛の部 優秀賞 2年1組 松本 颯太さん
3年1組 岡崎 弘季さん

フーフーアレンジメント競技 最優秀賞 2年1組 鈴木 誠也さん
2年1組 駒形 守羅さん

農業鑑定競技(農業) 優秀賞 2年1組 高橋 六花さん
(畜産) 優秀賞 3年1組 瀧 朱さん
優秀賞 2年1組 赤川 人成さん
優秀賞 2年1組 前多 涼介さん
優秀賞 2年2組 青山エイトさん
優秀賞 3年2組 浜平くろみさん
優秀賞 3年2組 下山 彰俊さん
優秀賞 3年2組 高橋 広大さん
優秀賞 3年2組 小川 菜月さん

(食品)

「第39回全道意見発表大会」

令和1年8月23日 壮瞥町

【分野I類】 優秀賞 3年2組 小川 菜月さん
優秀賞 3年2組 福田 あみさん

「第71回全道実績発表大会」

令和2年1月30〜31日 旭川市

最優秀賞 乳加工専攻班
優秀賞 農業クラブ執行部

「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」

令和1年12月16日〜2年1月15日

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部主催
事務局長賞 釧路市×北海道土幌高等学校

委員会調査報告

産業厚生常任委員会

高齢化社会における、地域の関わりと生きがいについて

◎調査期日及び場所

令和元年11月26日

札幌市 株式会社 MOE

ホールディングス

11月27日

空知管内 上砂川町

令和2年2月5日

士幌町総合福祉センター

総合福祉調整室

◎所感

士幌町では、「地域福祉計画」「地域福祉実践計画」を基本としたなかで、町と社会福祉協議会が基本理念『支え合いで、安心安全を共感するまち』を共有し、連携して計画の実践に努めている。地域包括支援センターが相談窓口となり多岐にわたる事業に取り組んでおり、生活支援コーディネーターが中心になって、住民

主体で支え合いの地域づくりが推進されている。

札幌市MOEホールディングス「フルールハピネスといね」では、「老健施設はただ日々老いていき亡くなるだけの施設であってはいけない。」という考えのもと、「一般社団法人「モエドワーク」が設立され、利用者のうち登録した方を対象に経験残存能力を評価し役割や仕事を提供している。高齢者が施設に入所しても「社会で活躍し続ける仕組みの構築」を目標に取り組みられている。本町にある特別養護老人施設において、視察した施設の取り組みを既存サービスに加えていくことは、現状の介護度等を考えると困難である。しかし、高齢者が生

きがいを持てる活動や環境づくりは、課題の一つとして今後も検討していく必要がある。上砂川町は高齢化率が50%を超える町で、地域の声がか

つかけて多くのボランティア組織を統合し、「ボランティア連絡会議」を意思・方向性の統一を図る会議体として活用し、地域から見て分かりやすい事業展開ができるように取り組んでいる。高齢者のボランティア組織である「ケアサポーター」の養成も積極的に行われ「出来る事を出来る分だけ」を合言葉に各種事業の展開がされており、高齢者が自ら街づくり活動に参画することにつながっていた。本町で実施されている日常生活支援事業は、平成31年度から開始され、事業の課題やその対策について自己評価する時期を迎えている。今後「利用者・協力者」双方の会員が増加し「互助」が充実していくことを期待するが、更に幅広い層のボランティアが大きな負担なく参加できる仕組みと考え方の普及、課題解決に向けた検討が必要と考える。

今後は、「めざすところは同じ、視点は多い方が良い」という考えのもと、横断的な情報共有と事業の展開がなされ、よ

い多くの高齢の方が生きがい・やりがいを感し、人と人が更につながる町になることを望む。

清水秀雄議員 永年功労者表彰を受賞

11月13日に開催された全国町村議会議長会創立70周年記念式典において、永年功労者として清水秀雄議員が受賞され、第1回定例会初日の本会議開催前に、秋間紘一議長から表彰状の伝達が行われました。



表彰内容

・30年以上の永きにわたり町村議会議員として、団体の意思決定、行政監視、政策提案といった議会活動に勤しみ、地域社会の振興発展及び住民福祉の向上に尽力した者を特別に表彰するものである。

士幌国保病院・病院長として…

今考えていること



士幌町国民健康保険病院
院長 宮西 秀二 さん

昨年9月から勤務させて頂いたとき、
本年4月から病院長となりました。

現在、役職の重みをひしひしと感じております。どうもよろしくお願
いいたします。

私の出身地は石川県、医師になっ
てからは出身の金沢大学内科医局員
として大学時代からスタートして主
に北陸地方の関連基幹病院をほぼ1
年交代でひたすら回りました。当時
はあの「白い巨塔」の時代でした。年
が明ければ人事発表はいつか、次は
どこの病院に異動するのか、などこ
ても気になったものです。
時代はかわり…50歳になってよう

やく北海道勤務が実現、今年でちよ
つと11年目、現在61歳単身赴任中
です。

これまで静内・別海・乙部などで
常勤、さらに羅臼・斜里などには短
期支援にもいきました、これら道内
病院で勤務して地域の病院の役割や
病院改善などについて考えることも
多く、大変良い経験ができたと思っ
ており、これらの経験を十分に活用
して新しい病院づくりをしていきたく
と考えております。
今後を考えるにあたり、私の一番
の目標は、「この士幌町国保病院をこ
こに出ても恥ずかしくないような、

またつしる指をさされることのない
ような病院にすること」です。その
ためには独りよがりにならないよう
に地元住民の方々や、その住民代表
である議員さんとの良好な関係は欠
かせないものと考えておりますので、
是非とも色々話し合っていけたら良
いと思っております。

士幌町は大規模農業を中心とした
農業大国で、おいしいものがたくさ
んあります。実は私も先祖代々の農
家の息子で、小学校卒業まではほと
んど毎日農家手伝いをしました。

「シロカリとイチゴ」の産地でした。
春はご飯とイチゴになぜかしらソー
スをかけたものがおかずでした。夏
は暑いさなか手で稲刈り…腰が痛い！
そして「はさ」に干し乾燥、最後に脱
穀です。まさに土まみれ状態、なの
で現在は病院勤務というものの農
業に対する思いは人一倍です
ここ十勝でも以前の農業は現在よ
りも相当苛酷だったと思われま
す。それらの努力を土台にして出来あ
がった現在の士幌でとれた新鮮野菜・

肉を中心に食べて、自分の健康に気
をつけて病院勤務を続けていきたい
と思っております。

また約5年前から健康のためとラ
ンニングを始めており、最近は一ハ
ーフマラソン・フルマラソンにも時々
参加しております。

士幌町は町なか少し抜ければまっ
すぐな道路が多く車で走ってもラン
ニングで走ってもとても気持ち良
いもので、時々出てくるリスに会う
ときはひとしおです。

またすれ違いざま「こんにちは」と
お互い気持ち良く挨拶がかわせるこ
ともここ士幌ではよくあることで住
民の温かさを感じられ、大変うれし
く思います。

最後に士幌町国保病院は町内でた
だ一つの医療機関です。

私はここ士幌で安心して働きたい
と思っておりますので今後ともこれ
まで変わらぬご指導ご鞭撻よろしく
お願い申し上げます。